

# 令和 8 年度事業計画 及び一般会計歳入歳出予算



茨城県支部

# 1. 令和8年度事業計画

令和8年度は、災害の頻発化・被害の甚大化等の現状・傾向を踏まえ、大規模災害に備えた救護員の育成・確保を進展させるとともに、防災セミナーや気候変動に伴う大雨・台風災害への対策セミナーを県民に普及し、地域防災力の強化に努める必要がある。

また、日本赤十字社茨城県支部の活動を支える活動資金の収入状況は、引き続き厳しい状況にあることから、スマートフォン決済やオンライン寄付など利便性の高い多様な寄付手段を活用するとともに、「いばらき赤十字法人サポーター」制度の周知も含め、より多くの県民・企業の皆さまからのご理解とご協力をいただけるよう、様々な媒体を用いた広報活動に積極的に取り組む必要がある。

このことから、令和8年度は、以下の(1)から(4)を重点として事業を進めていくこととする。

- (1) 災害救護体制の強化
- (2) 地域の災害・気候変動リスクへの対応
- (3) 広報活動の充実と新たな決済手段を活用した活動資金の確保
- (4) DXの推進、GXへの対応
- (5) 救急法等の講習
- (6) 赤十字奉仕団
- (7) 青少年赤十字
- (8) 国際活動
- (9) 看護師の養成

# (1) 災害救護体制の強化

大規模災害に備え、体系的な研修を実施し救護員を育成・確保するほか、令和8年度は当支部が当番県として、関東甲越支部合同の救護研修を開催する。

## 目 標

- ① 総合的・専門的な研修を10回開催し、救護員延べ200名を育成
- ② 関東甲越支部合同研修を開催し、救護員60名の実践力を強化

### ① 救護員の育成・確保

- ・ 災害医療の総合研修、こころのケアやロジスティックスの専門研修を実施し、体系的に救護員を育成・確保する。

### ② 関東甲越支部合同研修の開催【新規】

- ・ 1都8県からなる関東甲越支部の合同救護研修を茨城県内で開催する。
- ・ 組織間連携、急性期医療ニーズへの対応など、大規模災害への実践力をさらに強化する。



救護班要員研修

## (2) 地域の災害・気候変動リスクへの対応

防災教育の普及・拡大を図るため、防災セミナーの指導者を養成し、体制を強化するとともに、気候変動リスクに備え、人の命と健康を守るためのセミナーや講習の普及に努める。

目 標	① 防災セミナー指導者を10名養成 ② 大雨・台風等防災セミナー 25回開催 参加者1,300名 ③ 熱中症予防・手当講習 20回開催 参加者600名
-----	---

### ① 防災セミナー指導者の養成 【新規】

- ・新たに指導者を10名養成し、体制強化を図る。

### ② 気候変動リスクへの対応(大雨・台風等) 【新規】

- ・大雨や台風の危険性と避難方法に加え、後発地震注意報など国が発する防災情報に関する知識を地域住民に周知・啓発するためのセミナーを開催する。

### ③ 気候変動リスクへの対応(熱中症) 【新規】

- ・猛暑による健康被害に対応するため、法人や団体と連携し、熱中症予防行動（こまめな水分補給やWBGTの確認）および応急手当に関する講習を普及する。



防災セミナー

## (3) 広報活動の充実とデジタル技術など新たな手法を用いた活動資金の確保

令和8年度活動資金 募集目標額 **3億5,500万円** (前年度比△2千万円)

日本赤十字社の使命と事業を分かりやすく的確に発信するとともに、スマートフォンなどデジタルツールを活用したキャッシュレス寄付を推進する。

目  
標

- ① 広報活動の充実 (プレスリリース年10回(例年5回程度))
- ② キャッシュレス手段を活用した新規会員の獲得
- ③ 「いばらき赤十字法人サポーター」の獲得 (年間100社増)

### ① 広報活動の充実

・ マスメディアへのプレスリリース・情報提供や、SNSでの情報発信を積極的に行う。

### ② 新規会員の獲得

・ PayPayやクレジットカード等の利便性の高い寄付方法について周知を図り、キャッシュレス寄付の推進に取り組む。【新規】

### ③ 新たな「いばらき赤十字法人サポーター」の獲得

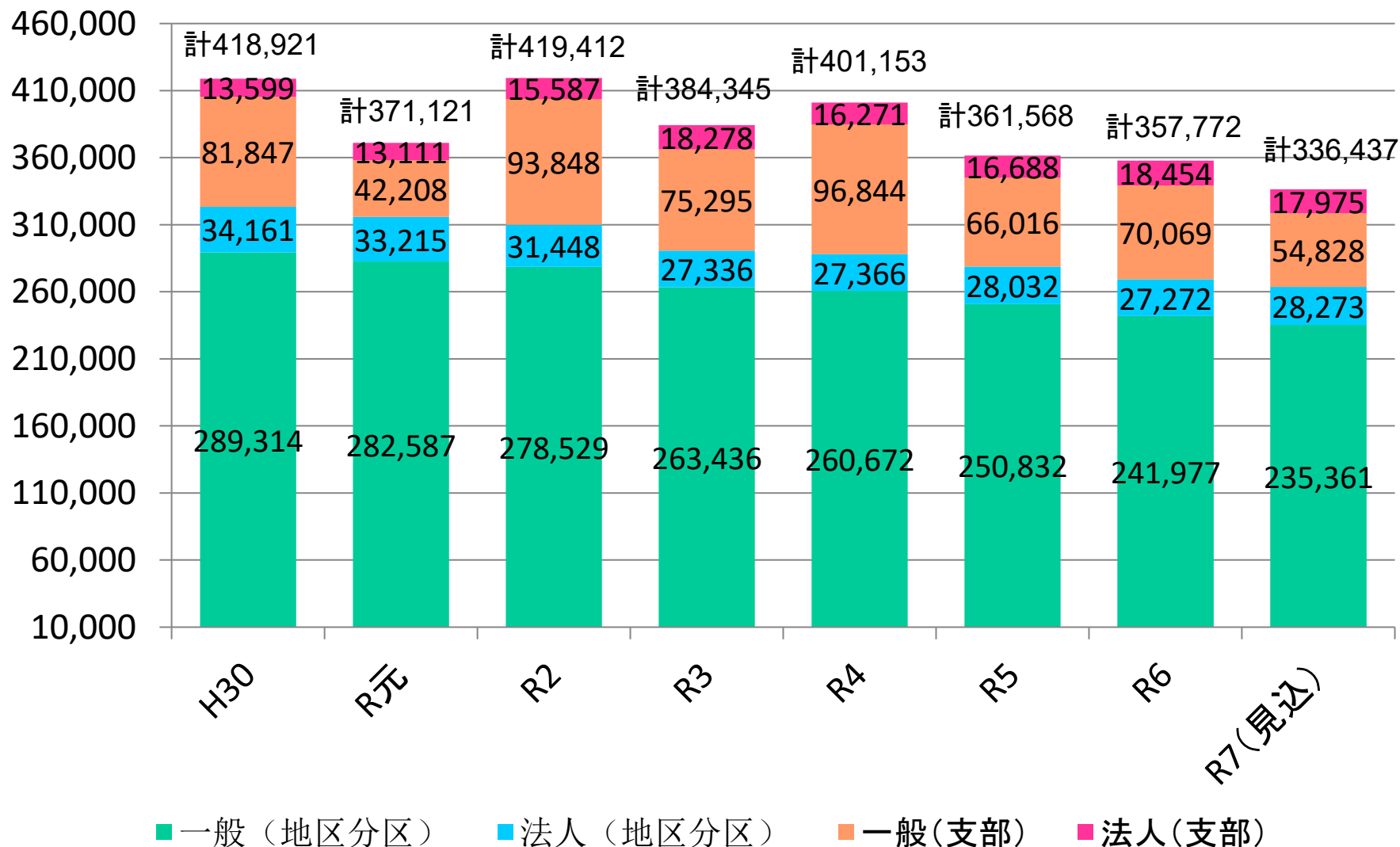
- ・ 経済5団体・各種業界団体を通じ、加入促進を図る。(会員：約2,000社) 【継続】
- ・ 有功会会員を通じ、加入促進を図る。(法人会員：約120社) 【継続】
- ・ ホームページや広報紙を通じてサポーター登録法人のPRと同制度の周知を図る。

※ 「いばらき赤十字法人サポーター」の概要については、別添資料をご参照ください。

### (3) 広報・連携活動の充実と活動資金の確保

○ 参考 活動資金募集額の推移 (令和7年度は見込み額)

(単位：千円)



## (3) 広報・連携活動の充実と活動資金の確保

### ○ 活動資金確保のための取り組み

令和8年度の目標額の確保に向け、以下の施策に積極的に取り組む。

取り組みの柱	主な施策
地区区分との 連 携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会等を通じて広報紙を配布し、赤十字活動への理解と協力の呼びかけ</li> </ul>
既存会員の 継 続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動により事業成果や感謝を伝え、継続支援を依頼</li> <li>・ 災害発生時は速報で救護活動の情報を発信</li> </ul>
新規会員の 獲 得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュレス寄付の周知</li> <li>・ 義援金寄付者等へダイレクトメールの送付</li> <li>・ 個人の祝事や法人の周年での記念協力の依頼</li> <li>・ 自動車免許取得者へ救急法チラシを配布</li> </ul>
法人寄付の 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人サポーターについて、経済・業界団体等を通じた加入促進やホームページ、広報紙を用いた周知</li> </ul>
遺贈等寄付の 推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺贈・相続財産寄付セミナーの開催</li> <li>・ 地元金融機関と連携した遺贈・相続財産寄付の推進</li> </ul>

## (4) DXの推進、GXへの対応

### ①DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進【継続】

デジタルツールである生成AI（文章や画像などを、人の代わりに新しく作り出すAI）やAI-OCR（画像から文字認識しデータ化する機能）などの利活用を促進し業務の効率化を図る。

#### 目 標

デジタルツールの活用により業務課題を解決することを目標に、職員のデジタルリテラシーの向上を目指し、業務の効率化を図る。

- ・ 生成AIの活用（文書作成、資料作成、情報収集など）
- ・ AI-OCRの活用促進
- ・ デジタル推進にかかる研修会の実施

### ②GX（グリーン・トランスフォーメーション）への対応【継続】

管内施設において、温室効果ガスの削減（紙や電力の使用量の削減など）に向けた取組を推進する。また、職員や赤十字ボランティア等に対して、フードロス削減への理解促進と協力を呼びかけるなどの啓発に取り組みます。

#### 目 標

全施設における紙使用量・電力使用量の前年比削減を図る。

- ・ ペーパレス化・・・電子決裁（全決裁文書の90%利用を目標）／紙使用枚数の可視化・削減
- ・ 節電対策・・・消費電力の可視化・削減／事業に支障のない範囲で空調の適正運転
- ・ フードロスの削減・・・職員・ボランティア等に対する啓発活動

## 2. 令和8年度歳入歳出予算

### (1) 歳入予算

(単位：千円)

科目	R8予算	R7予算	増減	備考（主なもの）
社資収入	355,000	375,000	△20,000	・一般社資（個人受付分）（300,000） ・法人社資（法人受付分）（55,000）
補助金及び交付金収入	7,187	5,215	1,972	・本社主催会議への出席に係る旅費助成金（420） ・本社から支部に対する交付金（6,767）
繰入金収入	1,000	3,862	△2,862	・国際救護活動資金からの繰入金
資産収入	2	2	0	・地代収入（電柱1本）
雑収入	6,503	8,395	△1,892	・講習会等負担金収入（5,310） ・その他雑収入（1,193）
前年度繰越金	※ 41,213	67,971	△26,758	
合計	410,905	460,445	△49,540	

(※) 令和7年度決算見込

419,902千円(歳入) - 378,689千円(歳出) = 41,213千円(令和8年度への繰越金)

## (2) 歳出予算

(単位：千円)

科 目	R8予算	R7予算	増 減	備 考 (主なもの)
災害救護事業費	50,855	54,596	△3,741	・災害救護訓練等費 (31,305) ・救護資機材等にかかる経費 (18,937) 救援車両の購入、救護資機材維持管理費 など
社会活動費	62,848	67,306	△4,458	・救急法等普及費 (29,033) ・奉仕団活動費・青少年赤十字活動費 (27,365)
国際活動費	1,010	1,136	△126	・バングラデシュ保健医療支援事業 (500) ・バヌアツ青少年赤十字事業 (500)
指定事業地方振興費	3,190	12,280	△9,090	・安眠セット (日赤全社統一物資) (3,000)
地区分区交付金	52,000	53,900	△1,900	・地区分区扱い社資目標額の減額のため
社業振興費	63,332	63,723	△391	・社資募集関係費 (36,049) ・広報活動費 (27,283)
基盤整備交付金 ・補助金	200	100	100	・日本赤十字学園への補助金
積 立 金	31,816	42,461	△10,645	・施設整備準備資金積立金 (22,000) ・退職給与資金積立金 (9,816)
総務管理費	80,167	78,434	1,733	・人件費 ・社会保険料 ・文書管理システム導入費用、 ・DX関連費用 ・職員研修会費用など
資産取得及び 資産管理費	10,683	30,428	△19,745	・メンテナンス料 (施設維持管理費用) (5,580) ・修繕費 (4,500)
本社送納金	51,804	53,081	△1,277	・社資収入 (予算) 減額のため
予 備 費	3,000	3,000	0	
合 計	410,905	460,445	△49,540	

# 令和 8 年度事業計画 及び医療特別会計歳入歳出予算



水戸赤十字病院

# 1. 令和8年度事業計画

## (1) 病院の特徴

ア. 病床数      許可病床：387床      実働病床：325床

イ. 診療科      26診療科

### ウ. 特 徴

- ・ 地域災害拠点病院
- ・ 紹介受診重点医療機関
- ・ 地域周産期母子医療センター
- ・ 地域リハビリテーション広域支援センター
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 病院機能評価認定施設
- ・ 緩和ケア病棟
- ・ 人間ドック施設                      等
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 第二次救急医療施設
- ・ 茨城県がん診療指定病院
- ・ EIC診療拠点病院
- ・ 基幹型臨床研修病院
- ・ ハイアユニット病棟
- ・ 地域包括ケア病棟

エ. 職員数      692人(常勤換算数)

医師：90人 看護師：339人 医療技術者：101人 その他：162人

## (2) 重要施策

**ア. 医業収益の改善対策**

**イ. 医療DXの推進**

**ウ. 人材の確保**

**エ. 地域医療構想への対応**

## (2) 重要施策

### ア. 医業収益の改善対策

#### ①患者数の確保

- 救急科を中心とした患者受入体制の拡充を図り、救急車による来院患者を積極的に受け入れ、応需率の向上に努める。
- 医師による開業医訪問や、公開型の症例検討会の開催などにより、地域の医療機関との更なる関係強化を図り、紹介患者の確保につなげる。
- 水戸保健医療圏内の総合病院の中でいち早く無痛分娩（産痛緩和法）を導入するなど、ニーズを踏まえた医療の提供に取り組む。

#### ②令和8年度診療報酬改定への対応

- 改定内容について十分に精査をし、新たな算定項目の取得や、既存の項目の要件の見直しにより、診療単価の増加につなげる。

#### ③費用の抑制

- 医薬品や診療材料、医療機器等の購入に際しては、同規模病院の購入実績の分析を行い、卸業者等と交渉しつつ入札を行うことにより、費用の削減を図る。
- 施設や設備の改修にあたっては、老朽化が顕著なものなど優先順位を決めて行うとともに、委託費や水道光熱費についても、契約内容を精査するなど、一層の経費削減に努める。

## (2) 重要施策

### イ. 人材の確保

- 医師や看護師等、不足する医療従事者の確保を図るため、大学医局やキャリアセンターへの働きかけ、人材紹介会社の活用、多様な媒体による採用情報の発信など、人材の確保に向けて、引き続き積極的に取り組む。

### ウ. 医療DXの推進

- マイナ保険証を有効活用し、オンラインによる資格確認の効率化を図るとともに、「電子カルテ情報共有サービス」の導入に向けた準備を進め、医療施設間の連携体制の強化や業務の効率化を図る。
- 入院説明や検査説明用の動画の更なる活用により、看護師の負担軽減を図るとともに、患者サービスの向上を図る。

### エ. 地域医療構想への対応

- 水戸地域医療構想を踏まえ、本構想区域内の6病院（水戸済生会総合病院、水戸協同病院、県立中央病院、水戸医療センター、県立こども病院及び当院）による協議等に適切に対応していくとともに、本社との連絡・調整を図りつつ、県や医師会とも連携しながら、当院の方向性について具体的な検討を進める。

## 2. 重要指標

### ア. 1日平均患者数

ア. 外来

単位：人

R8年度計画	720
R7年度計画	680
R7年度決算見込	730

イ. 入院

単位：人

R8年度計画	244
R7年度計画	244
R7年度決算見込	221

### イ. 1人1日当り患者収益

ア. 外来

単位：円

R8年度計画	22,000
R7年度計画	22,000
R7年度決算見込	21,333

イ. 入院

単位：円

R8年度計画	68,000
R7年度計画	64,000
R7年度決算見込	66,729

# 3. 令和8年度歳入歳出予算

## ・収益的収入及び支出

### (1) 病院収益

単位：千円

	入院診療収益	外来診療収益	その他の 医業収益	医業外収益等	合計
R8年度予算	6,056,080	3,801,600	396,736	268,268	10,522,684
R7年度予算	5,699,840	3,605,360	391,846	268,671	9,965,717
R7年度決算見込	5,399,370	3,752,779	373,408	292,820	9,818,377

・収益的収入及び支出

(2) 病院費用

単位：千円

	材料費	給与費	その他の 医業費用	医業外費用等	合計
R8年度予算	3,110,986	5,759,790	1,852,804	232,878	10,956,458
R7年度予算	3,089,937	5,362,009	1,971,590	227,624	10,651,160
R7年度決算見込	3,030,190	5,624,711	1,915,664	230,336	10,800,901

## ・収益的収入及び支出

### (3) 収支差引

単位：千円

	収 入	支 出	差 引
R8年度予算	10,522,684	10,956,458	▲433,774
R7年度予算	9,965,717	10,651,160	▲685,443
R7年度決算見込	9,818,377	10,800,901	▲982,524

※ 経営改善に向けた中長期計画を策定中



# 令和8年度事業計画 及び医療特別会計歳入歳出予算



古河赤十字病院

# 1. 令和8年度事業計画

## (1) 病院の特徴

ア 病床数      許可病床：200床      実働病床：200床

イ 診療科      27診療科

### ウ 特 徴

- ・ 地域災害拠点病院
- ・ 紹介受診重点医療機関
- ・ 病院群輪番制病院
- ・ 小児救急二次輪番病院
- ・ 在宅医療参入促進連絡医療機関
- ・ 自治医科大学古河地域臨床教育センター
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 第二次救急医療施設
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 病院機能評価認定施設
- ・ 地域包括ケア病棟（50床）
- ・ 救急救命士実習病院 他

工 職員数      460人(常勤換算数)

医 師：      101人      看護師：192人

医療技術者：64人      その他：103人

## (2) 重要施策

### ア 医業収支の改善対策

イ 訪問看護ステーションの開所 **【新規】**

ウ 日帰り手術室の稼働について **【新規】**

エ 医療DXの推進による業務効率の改善

オ 人材育成 **【新規】**

## (2) 重要施策

### ア 医療収支の改善対策

#### ○ 救急受入れの強化

- ・非常勤救急医の雇用促進と院内の意識改革により救急車受入れ台数の増加を図る（目標2,000台/年）とともに、より重症度の高い救急患者の受入れにより入院診療単価の改善を図る。

#### ○ 紹介患者対策

- ・当院は紹介受診重点医療機関として紹介患者の受入れ強化を図る必要がある。診療所や施設との関係強化のため、これまでの連携の集いに加えて開業医の方と症例検討会などを複数回開催し、お互い顔の見える関係を築いていく。

#### ○ 病床稼働率81%の実現

- ・救急車受入れ強化及び、紹介患者受入れ強化を行い、より多くの入院患者を確保し、病床稼働率81%を実現し、医療収益の確保を行う。

### イ 訪問看護ステーションの開所【新規】

- ・急速な高齢化の進行に伴い、慢性疾患を抱えながら地域で生活をする方々や、退院後も継続的な医療や看護を必要とする方々、また、それを支えるご家族等のQOLの向上を目的に、令和8年4月に訪問看護ステーションを開所する。

## ウ 日帰り手術室の稼働について【新規】

- ・形成外科の手術実績は、2019年度の66件から2025年度は362件へと増加しており、手術枠の利用調整が必要な状況になっている。更に整形外科の脊椎手術も新たに始めたことから、日帰り手術室を整備し運用することで効率よく手術件を伸ばし、収益確保を目指す。

## エ 医療DXの推進による業務効率の改善

- ・現行の電子カルテシステムが2028年3月で使用期限が切れることから、次期システムは大幅な経費削減が見込める「コンピュータサーバーのクラウド型」を予定している。これを機会にDXの活用やシステム運用の再設計による業務効率化、セキュリティ対策の強化を実施し、安心安全で効率の高いシステムの構築を目指すために十分な検討を行う。

## オ 人材育成【新規】

- ・古河赤十字病院職員キャリアアッププロジェクトとして、職員のスキルアップ向上更には将来、院内各部門のリーダーとして病院運営に貢献する人材育成を目的として、社会人大学院入学（医療経営マネジメントコース）のサポートを実施する。

## (3) 重要指標

### ア 1日平均患者数

#### ①外来

単位：人

R8年度計画	430
R7年度計画	420
R7年度決算見込	400

#### ②入院

単位：人

R8年度計画	162
R7年度計画	146
R7年度決算見込	154

### イ 1人1日当り患者収益

#### ①外来

単位：円

R8年度計画	13,700
R7年度計画	13,500
R7年度決算見込	13,500

#### ②入院

単位：円

R8年度計画	53,500
R7年度計画	53,500
R7年度決算見込	51,600

## 2. 令和8年度歳入歳出予算

### ・ 収益的収入及び支出

#### ① 病院収益

単位：千円

	入院診療収益	外来診療収益	その他の 医業収益	医業外収益等	合計
R8年度予算案	3,163,455	1,419,731	426,543	97,003	5,106,732
R7年度予算	2,851,015	1,491,210	386,517	76,806	4,805,548
R7年度決算見込	2,900,436	1,366,200	393,777	82,137	4,742,550

## ・ 収益的収入及び支出

### ②病院費用

単位：千円

	材料費	給与費	その他の 医業費用	医業外費用等	合計
R8年度予算案	991,700	3,156,887	979,737	153,908	5,282,232
R7年度予算	878,300	2,863,187	1,016,605	97,626	4,855,718
R7年度決算見込	927,064	3,128,919	1,079,230	110,513	5,245,726

## ・ 収益的収入及び支出

### ③収支差引

単位：千円

	収 入	支 出	差 引
R 8年度予算案	5,106,732	5,282,232	▲175,500
R 7年度予算	4,805,548	4,855,718	▲50,170
R7年度決算見込	4,742,550	5,245,726	▲503,176

※ 経営改善に向けた中長期計画を策定中



# 令和8年度事業計画 及び社会福祉施設特別会計歳入 歳出予算

---



支部乳児院

# 1. 令和8年度事業計画

## (1) 乳児院の概要

ア 児童福祉法に基づき認可・設立

- ・ 家庭の様々な事情により養育困難な乳幼児を、県内の児童相談所より、措置・一時保護として預かり、昼夜にわたり必要な期間養育を行っています。

イ 入所定員 38人

ウ 職員数 51人

嘱託医：1人

看護師・保育士：37人

管理栄養士：1人 その他：12人

## (2) 重要施策

### ア 安心安全な生活環境の提供

- ・子どもたちが心身ともに健やかに成長できる生活の場を提供し、入所児一人ひとりの発達段階に合わせた養育、家庭的な養育を目指したきめ細かなケアに取り組む。

### イ 子育て支援事業（地域交流事業）

- ・乳児院の持つ専門性を活かし、子育て家庭に役立つ情報を提供することにより、地域の子ども達の健やかな成長支援を行う。
- ・一般の子育て家庭を対象とした親子交流会を実施し、子育て世代の情報交換・交流の場を提供する。【新規】
- ・子育て短期支援事業（ショートステイ）を実施し、地域の子育て支援を行う。

#### 目 標

子育て短期支援事業において、年間延べ30名受入

- ・近隣の高齢者施設利用者など、地域の方々との交流を図り、地域住民との信頼関係を築く。
- ・各関係機関と協働で里親委託の支援を推進する。

## (2) 重要施策

### ウ 施設が有する資源等の活用

- ・ 近隣の医療施設と連携し、病虚弱児（医療的ケアが必要な児童）の受入れを行う。
- ・ 県児童福祉施設協議会主催の行事開催時等、救護のため看護師を派遣する。
- ・ 実習生（保育・看護）の受入を行う。

### エ 職員の質の向上と人材育成

- ・ 他施設（他県日赤乳児院、県内乳児院）への短期実地研修に参加する。
- ・ 各種研修会へ積極的に参加し、職員の質向上を図る。

目 標

各種研修会に延べ70名参加し、職員一人ひとりの質向上を図る

### オ DX・GXの推進

- ・ 保育記録システムの本稼働により、業務効率化と経費削減によるGXの推進
- ・ 施設内全照明のLED化

## 2. 令和8年度歳入歳出予算

### 収 入

単位：千円

	R8年度予算	R7年度予算	増 減	備 考
事業活動収入	369,777	320,422	49,355	措置費（事務費38名、事業費35名）他
その他活動収入	14,075	20,501	△ 6,426	その他収入（退職一時給与金）
前年度繰越金	95,921	92,050	3,871	前年度繰越金
合 計	479,773	432,973	46,800	

### 支 出

単位：千円

	R8年度予算	R7年度予算	増 減	備 考
事業活動支出	364,686	361,478	3,208	人件費、水道光熱費、修繕費、消耗品費 他
施設整備等支出	2,500	8,000	△ 5,500	固定資産取得支出
その他活動支出	13,568	13,292	276	退職拠出金支出
予備費	1,500	1,500	0	予備費
合 計	382,254	384,270	△2,016	

※ 収入合計 479,773千円 - 支出合計 382,254千円 = 収支差引97,519千円



# 令和8年度事業計画及び 採血・供給計画（案）



茨城県  
赤十字血液センター

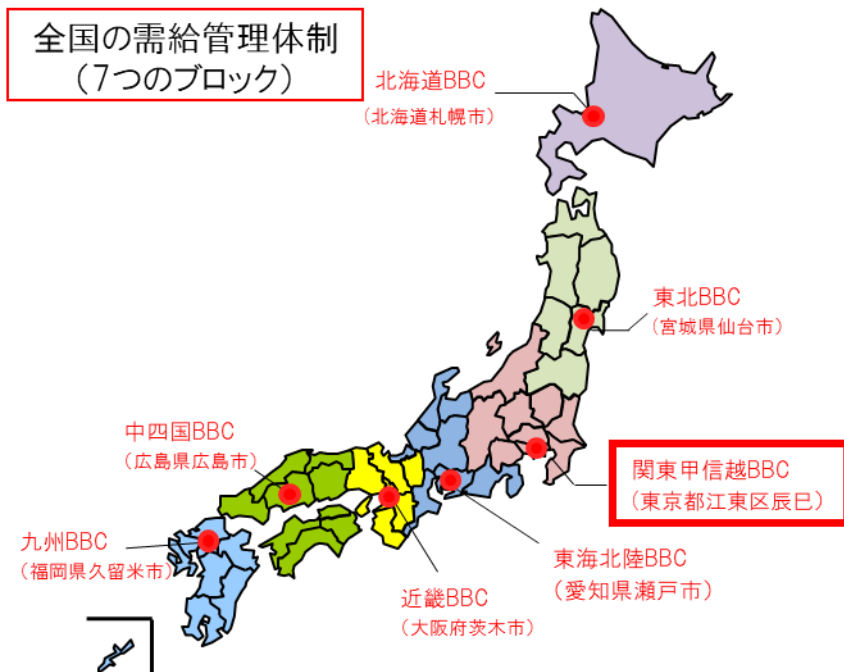
# 1. 血液事業の広域事業運営体制

- 血液事業は、全国を7ブロックに分け、都道府県の枠を越えた広域的なエリア内で採血種別の役割分担等を行い、医療機関の輸血需要に見合った献血協力を募り、安定供給に努めている。
- 事業計画等をブロック単位で策定するとともに、保有資金を血液事業本部で一元管理し、有効活用を図っている。

茨城センターは属する関東甲信越ブロックで確保すべき採血本数の**5.5%**を担っている。

関東甲信越ブロック内の採血本数比率（令和8年度採血計画）

茨城	5.5%
栃木	4.7%
群馬	4.5%
埼玉	12.9%
千葉	12.3%
東京	31.8%
神奈川	17.7%
新潟	4.8%
山梨	1.9%
長野	4.0%



## 2. 令和8年度事業計画

### (1) 基本方針

関東甲信越ブロック内の地域センターと連携し、血液法等の関係法令を遵守し、献血者の保護に努めるとともに医療に必要な血液を確保し、高品質の血液製剤の安定供給に資する。

### (2) 主な施策

重点項目1 若年層協力の拡大

重点項目2 企業・団体献血の拡大

重点項目3 予約率の向上

### (3) その他施策

SNSを活用した広報

プロスポーツチームと連携した新たな献血協力者層の開拓

県支部の活動資金確保への協力

# 主な施策 重点項目1 若年層協力の拡大

## 〔主な取組みと目標〕

### 1) 若年層を対象としたキャンペーンの実施

→ 初回者や勤務先など属性に応じた確保対策の実施



### 2) 県内大学・高等学校献血の開拓

献血未実施校での学内献血の推進 ▶ 目標 2校

#### R7実績

私立高等学校 2校開拓

▶ 明秀学園日立高等学校、岩瀬日本大学高等学校



**一緒にいこう！  
はじめての献血サマーキャンペーン  
2025**

【献血可能年齢】  
20歳：16歳 から  
400ml：男性17歳 から  
女性18歳 から

対象者  
10代20代で献血がはじめての方と  
その同伴者のペア(グループ)  
※10代20代で献血がはじめての方10名までOK!

キャンペーン期間  
2025年 **8/1(金)**  
～**8/31(日)**

条件  
Step1: キャンペーン会場に、  
対象のペア(グループ)が集まって、  
それぞれ全量献血にご協力  
Step2: アンケートに回答  
Step3: 対象の記念品ゲット!

◎記念品をプレゼント!◎

10代20代で献血がはじめての方  
には、モバイルバッテリー  
※最大1000mAh

その同伴者には、ティッシュBOX♪  
※かんわりやわらか  
タイプ300個

◎キャンペーン会場◎

献血ルームMEET 全戸市役所1-7-31 水戸駅ビルエクセルみなみ6F  
TEL 0120-310-399

つくば献血ルーム つくば市番書1-7-1 トナリエつくばスタジアムCQ04F  
TEL 0120-298-102

【お問合せ先】  
茨城県保健医療部医務課 企画調整担当まで  
TEL 029-301-3384 Mail: yakumu@pref.ibaraki.lg.jp

LINE  
@ibarcross

### 3) 献血セミナー等の実施

学域会場ほか企業の新人研修等で実施 ▶ 目標 97件

#### R7実績

61件実施 (前年度同時期比+ 8 件)

### 4) 県内高等学校JRC部との連携(ボランティア活動)

JRC部と連携した献血者確保および啓発活動 ▶ 目標 3校

#### R7実績

3校と校内献血での広報や献血ルームのボランティア活動で連携

▶ 常総学院高等学校、竹園高等学校、緑岡高等学校



# 主な施策 重点項目2 企業・団体献血の拡大

## 〔主な取組みと目標〕

### 1) 新規団体、事業所、商業施設の開拓・実施

新規実施 ▶ 目標 15会場

#### R7実績

##### (団体)

茨城県建設業協会 ▶ 常陸大宮支部  
市町村消防団 ▶ 笠間市、桜川市、牛久市、阿見町  
茨城県神道青年会  
茨城県宅地建物取引業協会  
茨城県情報サービス産業協会 (ほか)

##### (事業所)

株式会社DNPデータテクノ  
雪印メグミルク(株)阿見工場 (ほか)

##### (商業施設)

フォルテつくば (ほか)



### 2) 休理事業所の再開

再開実施 ▶ 目標 16会場

#### R7実績

株式会社ヤクルト本社工場 など





# その他施策

## 1) SNSを活用した広報

### ・ X公式アカウント（県内各施設）

- ➔ キャンペーンの告知、献血協力団体の実施報告の投稿
- ➔ 協力団体と相互フォロー、各フォロワーへの周知を通じ、献血協力の裾野を広げる

### ・ LINE公式アカウント

- ➔ LINE独自のキャンペーン企画  
抽選キャンペーン、ショップカード機能ポイント交換キャンペーン
- ➔ リッチメニュー機能活用  
献血会場の案内、キャンペーン情報、献血の基準等の基礎知識掲載

【参考】ともだち登録者 全国の血液センターの中では最多25,000人超(令和7年10月末時点)

← ポスト

 茨城県赤十字血液センター  
@ibarakikenketsu

8/25(月) 陸上自衛隊勝田駐屯地様で献血を実施しました🙌🌟  
今回もたくさんの方にご協力いただき、45名の方にご協力いただけました。本当にありがとうございました🙏  
みなさんのあたたかい気持ちは、輸血を必要としている方々へ届けます💖  
#献血 #ありがとう




去年に引き続き！  
ポイントカード  
はじめました

2025.08.01~2026.03.31

ポイント貯めてもらえる！  
茨城限定！  
けんけつちゃん  
フェイスマスク👏  
どちらももらえるからお楽しみ！

二次元コードを読み取って  
ポイントカードをGET！



結果がすぐ分かる！  
トミカ抽選CP

スマホで タップ

LINEお友達限定  
2人に1人当たるかも！？

血液センターオリジナル「献血運搬車 日産セレナ」  
トミカ

※無くなり次第終了です。

# その他施策

## 2) プロスポーツチームと連携した新たな献血協力者層の開拓

競技名	団体名	これまでの連携内容
サッカー	鹿島アントラーズFC	ホームゲームへ献血バスを配車、クラブハウスでの地域献血、記念品の無償提供
サッカー	FC水戸ホーリーホック	「シャレン！で献血」での協働。ホームゲームへ献血バスを配車、Xを通じた広報
サッカー	つくばFC	クラブ関係者の献血協力、啓発活動
バスケットボール	茨城ロボッツ	夏期冬期のコラボキャンペーン。公式マスコットの献血大使委嘱を予定
バレーボール	つくばユナイテッドSunGAIA	クラブ関係者の献血協力、啓発活動

➔ 上記団体との連携を継続するとともに新規事業を実施。また、新規団体へのアプローチも予定



## 3) 県支部と連携した活動資金の確保 【新規】

バーコード決済の二次元コードを献血ルームに掲出し、オンラインによる活動資金を確保

## 3. 採血計画

### (1) 茨城県赤十字血液センター全体

(単位：本)

項目	令和8年度計画 (A)	令和7年度計画 (B)	令和7年度実績見込	対前年計画比 (A) / (B)
計画数 (合計)	<b>104,598</b>	105,571	105,915	99.1%
(内訳) 200mL献血	<b>2,823</b>	2,677	3,398	105.5%
400mL献血	<b>74,002</b>	74,693	73,630	99.1%
血漿献血	<b>19,128</b>	21,301	21,432	89.8%
血小板献血	<b>8,645</b>	6,900	7,455	125.3%

### (2) 茨城県赤十字血液センター施設別内訳

#### ア 移動採血

(単位：本)

項目	令和8年度計画 (A)	令和7年度計画 (B)	令和7年度実績見込	対前年計画比 (A) / (B)
計画数 (合計)	<b>51,259</b>	52,060	52,116	98.5%
(内訳) 200mL献血	<b>2,256</b>	2,202	2,315	102.5%
400mL献血	<b>49,003</b>	49,858	49,801	98.3%
血漿献血				%
血小板献血				%

## イ つくば献血ルーム（つくば出張所）

（単位：本）

項 目	令和8年度計画 (A)	令和7年度計画 (B)	令和7年度実績見込	対前年計画比 (A) / (B)
計画数（合計）	<b>27,149</b>	27,135	26,900	101.1%
（内訳）200mL献血	<b>287</b>	233	284	123.2%
400mL献血	<b>12,777</b>	12,692	12,214	100.7%
血漿献血	<b>9,243</b>	9,011	9,797	102.6%
血小板献血	<b>4,842</b>	5,199	4,605	93.1%

## ウ 水戸献血ルーム（水戸出張所）

（単位：本）

項 目	令和8年度計画 (A)	令和7年度計画 (B)	令和7年度実績見込	対前年計画比 (A) / (B)
計画数（合計）	<b>26,190</b>	26,376	26,899	99.3%
（内訳）200mL献血	<b>280</b>	242	799	115.7%
400mL献血	<b>12,222</b>	12,143	11,615	100.7%
血漿献血	<b>9,885</b>	12,290	11,635	80.4%
血小板献血	<b>3,803</b>	1,701	2,850	223.6%

## 4. 供給計画

(単位：200mL換算)

項 目	令和8年度計画 (A)	令和7年度計画 (B)	令和7年度実績見込	対前年計画比 (A) / (B)
計画数 (合計)	<b>316,500</b>	314,000	310,803	100.8%
(内訳) 赤血球製剤	<b>134,200</b>	132,100	131,704	101.6%
血漿製剤	<b>34,000</b>	32,900	33,229	103.3%
血小板製剤	<b>148,300</b>	149,000	145,870	99.5%